

今回山形短観における主な判断、事業計画の動き

(2019年3月調査)

1. 業況判断

3月調査では、非製造業が改善したものの、製造業が悪化したため、全産業では5と前回調査から1ポイント悪化した。因みに、前回調査では悪化、水準は3を予測していた。

製造業・・・電気機械、輸送用機械などが悪化したため、全体では▲2と前回調査から13ポイントの悪化となった。前回調査では、水準は2を予測していた。

非製造業・・・運輸・郵便が良好な水準を維持する中、建設が悪化したものの、卸・小売、情報通信、宿泊・飲食・対個人サービスなどが改善したため、全体では11と前回調査から9ポイントの改善となった。前回調査では、水準は3を予測していた。

先行き (2019年6月予測) は、製造業、非製造業とも悪化するため、全産業では▲5と10ポイントの悪化を予測。

2. 売上・収益計画

(1) 売上高

2018年度(計画) は、製造業は前年度比1.2%の増収、非製造業は同▲1.2%の減収となり、全産業では同0.1%と前年並みの計画。

前回調査との比較では、非製造業(修正率0.2%)がわずかに上方修正されたものの、製造業(同▲0.7%)が下方修正されたため、全産業では▲0.3%の下方修正となった。

2019年度(計画) は、製造業は前年度比1.3%、非製造業は同1.2%の増収となり、全産業では同1.3%の増収計画。

(2) 経常利益

2018年度(計画) は、製造業は前年度比▲13.4%の減益、非製造業は同▲2.6%の減益となり、全産業では同▲10.0%の減益計画。

前回調査との比較では、製造業（修正率▲6.7%）、非製造業（同▲1.6%）とも下方修正されたため、全産業では▲5.0%の下方修正となった。

2019年度（計画）は、製造業は前年度比▲17.7%、非製造業は同▲14.7%の減益となり、全産業では同▲16.7%の減益計画。

3. 設備投資額（含む土地投資額）

2018年度（計画）は、製造業は前年度比▲22.2%の減少、非製造業は同17.3%の増加となり、全産業では同▲8.7%の減少計画。

前回調査との比較では、製造業（修正率▲1.4%）、非製造業（同▲3.5%）とも下方修正されたため、全産業では▲2.4%の下方修正となった。

2019年度（計画）は、製造業は前年度比▲21.0%、非製造業は同▲34.7%の減少となり、全産業では同▲27.0%の減少計画。

4. 雇用

雇用人員判断・・・ 製造業、非製造業の「不足」超幅がわずかに縮小したため、全産業の「不足」超幅は▲28と前回調査比わずかに縮小。先行き（2019年6月予測）の「不足」超幅は再び拡大を予測。

以 上